

2022年

詳しくは裏面をご覧ください▶▶

6/48 $\sim 7/2$ 813:30-15:00 每週土曜日 · 全5回

世界各地での乱獲や開発による生物多様性の損失が気候変動問題と並ぶ地球上の大きなリスクである との認識が国際的に広がり、生物多様性の保全・回復への議論が急速に高まっています。本講座では、 我々を取り巻く自然環境や生活にも影響を及ぼす陸地・海洋の生物多様性について本学教員が分かり やすく講義する中で、持続可能な生物多様性・生態系について考えていきます。





講義スケジュール



第1回 $6/4(\pm)$

世界・日本・大阪から見た生物多様性

講師:平井規央(大阪公立大学農学研究科教授)

生物多様性の低下とその重要性が認識される中で、世界ではポスト2020の枠組、国内では次期国 家戦略の策定に向けた取り組みが進み、大阪府では2022年3月に地域戦略が策定されました。こ のような取り組みについて紹介し、私たちの暮らしとの関りについて考えます。



第2回 $6/11(\pm)$

生態系と人間活動:自然環境の保全方策について

講師:今西純一(大阪公立大学農学研究科教授)

人は生態系に大きな影響を与えています。本講義では、生態系の概念について解説した後、人間 活動の拡大による生態系への影響と、その影響を緩和するための自然環境の保全方策について紹 介します。



第3回 $6/18(\pm)$

植物の多様性の源は何だろう

講師:藤原宣夫(大阪公立大学農学研究科教授)

世界には約27万種の植物が存在しています。日本にはどのぐらいの種がいるか知っていますか。 世界の国々に比べて日本の植物は多様なのでしょうか。なぜ多様性/画一性が生じるのでしょう か。本講義では様々な植物を紹介しながら多様性の源を探ります。



第4回 $6/25(\pm)$

海洋の生物多様性と生態系サービス

講師:中谷直樹(大阪公立大学工学研究科教授)

私たちは海洋から多くの恵みを受けており、その源は海洋生物の多様性から生まれています。本 講義では、海洋の生物多様性による生態系サービスについて説明した後に、生物多様性の現状と 問題についてご紹介します。



第5回 $7/2(\pm)$

動物の生活史と多様性

講師:上田昇平(大阪公立大学農学研究科准教授)

地球上では、様々な動物が長い時間をかけて環境に適応し、多様性が育まれてきました。本講義 では、様々な動物の生活史や種間関係、行動生態を紹介し、それらの多様性を守ることがなぜ重 要かを考えます。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、本講座は変更・中止となる可能性があります。







2022年4月より大阪府立大学と大阪市立大学は統合し、「大阪公立大学」となりました。

■ 会場: 大阪公立大学 I-siteなんば(大阪市浪速区敷津東2-1-41 南海なんば第1ビル 2階)

■ **定員** : 50名(申込者多数の場合は抽選) ■ 対象者 : どなたでも ■ **受講料** : 5,000円(全5回分)

■ 申込方法:本学Webサイト「申込フォーム」から申し込みいただくか、「往復はがき」で

(1)氏名(フリガナ)(2)年齢、(3)郵便番号・住所、(4)電話番号、(5)この講座を知ったきっかけ をご記入の上、下記宛先へお申込みください。

※受講の可否は開催日の5日前までに通知します。届かない場合は必ずお問合せください。

■ 申込フォーム:右記二次元コードまたは大阪府立大学Webサイトからお申込みください。

■ **往復はがき宛先** ※返信用はがきは両面とも白紙でお送りください。

〒599-8531 堺市中区学園町1番1号 大阪公立大学 C5棟 社会連携課「自然と共生する世界」係

■ 問合せ先: 大阪公立大学 社会連携課 Tel 072-254-9942 Fax 072-254-6271

申込フォーム▼



申込締切:5/19(木) 必着

大阪公立大学Webサイト ▶ 大阪公立大学 公開講座

※お申込みの際の個人情報は、申込後の事務連絡、統計資料等の作成および本学公開講座等のご案内に使用いたします。利用目的以外の使用については、一切いたしません。















